

平成29年度第1回稲沢市男女共同参画審議会 会議録

【日時】 平成29年6月6日(火) 午後1時30分～午後2時40分

【場所】 稲沢市役所 第1分庁舎2階 第3会議室

【出席者】 稲沢市男女共同参画審議会委員(敬称略)

川口ゆかり	愛知県男女共同参画セミナー修了生
櫻井 茂法	学識経験者
牧 博之	名古屋造形大学教授
山内 晴雄	稲沢市社会教育委員長
初田 昭彦	公募委員
平野 里枝	公募委員
浪上 永子	公募委員
水野 裕子	公募委員
宇佐美 望	愛知県立稲沢高等学校校長
吉次 栄子	男女共同参画推進団体いなざわウィルネット代表

【事務局】 恒川 武久 教育長
内藤 幸蔵 生涯学習課長
江頭 弘幸 生涯学習課 主幹
大崎 敬介 生涯学習課 主査
伊藤 淳子 生涯学習課 主査

【会議の概要】

1 委嘱状の交付

恒川教育長から各委員に辞令を交付。

2 あいさつ

[教育長あいさつ]

- ・出席のお礼
- ・審議会委員の辞令を交付させていただいた。2年間よろしくお願ひしたい。
- ・暦の上では昨日6月5日が芒種ということで種まきの時期となっているが、ここへきて暑さも少し和らぎ過ぎやすくなっている。ただ、朝晩は肌寒く感じることもあるので、健康には御留意いただきたい。
- ・平成28年3月に、男女共同参画プランⅡの第2次中間改訂を取りまとめたいただいた。本日は、稲沢市の男女共同参画施策や女性活躍推進計画の策定などについて御協議いただく中で、御提言を賜り、市の施策の方向付けをさせていただきたい。
- ・男女共同参画を目指す時代であるということは、誰もが認識している。少子高齢化の中

にあって、女性の活躍なしには社会が成り立たない。しかし、現実を目を向けると、多くの職場でまだまだ男女格差があり、男女共同参画がなかなか進んでいないのが現状ではないかと感じる。

・新聞報道などを見ると、女性の活躍は目覚ましいものがある。今後はメディアに取り上げられるような方だけでなく、更に多くの女性が真に活躍できる社会になってほしいと期待している。

・働きたくても働けない、そうした厳しい状況にある女性がいるのも事実であり、女性が抱える問題、例えば家庭と社会の両立、賃金格差や女性への暴力等については、男女が共に問題を共有して解決していく必要があり、その中で、男女が充実した職業生活、社会生活を送ることが出来る社会づくりが必要だと考えている。

・委員の皆様には今回を始めとして、審議会の場で男女共同参画のあり方について御意見・御提言を賜りますようお願い申し上げて、あいさつとさせていただきます。

3 自己紹介

審議会委員、事務局の自己紹介

4 議題（1）会長・副会長の選出について

事務局から会長・副会長の選出について説明。稲沢市男女共同参画審議会設置要綱第4条第1項の規定により、委員の互選で会長に山内晴雄委員、副会長に吉次栄子委員を選出した。

[山内会長あいさつ]

・昨年度に引き続いて会長をということなので、よろしくお願ひしたい。

・私が今、一番時間を割いているのが田んぼや畑のこと。祖父江にホテルの生息地があって、これを何とか守っていこうということで、毎日のように田んぼに通っている。その合間をみて、小中学校や高等学校の授業にも協力している。この間は杏和高校に行った。そこで、少し虫の食った穴の開いたキャベツときれいなキャベツのどちらを選ぶか尋ねたら、みんなきれいな方を選んだ。それから、カエルを掴んだことがあるかと尋ねたら、捕まえるのは女子だけで、男子は全部だめだった。実際に田んぼに連れて行くと、女子のほうがはるかに積極的に行動する。教育委員会で実施している中学生の海外派遣でも、黙っていると10名の定員がすべて女子になってしまうので、男子も何とかしなければということで教員が声掛けして、何とか8：2くらいにしている。時代はこのように変わってきている。物事の捉え方について、男子は自信がなくなっているのではないかとも感じる。その割に、何かあるとかつとする部分もある。私が現職の時に最も心を砕いたのが生徒指導で、元気すぎる子ども達の対応と虐待、不登校問題への対応だった。これにずっと携わらせていただきながら、今やっている自然環境の問題も通しながら、青少年健全育成に取り組ん

でいかなければということで、若い親子世代に向けて活動を続けている。

・私自身も5年ほど孫と同居しているが、若い夫婦が仕事に出るので、保育園の送迎をやっていた。今年小学校に入学したので送迎はなくなったが、学校から早い時間に帰ってくるので、日常的に育児をしている。そうした中で、男女共同参画について感じることもある。この審議会を通じていろいろ勉強させてもらいたい。

[吉次副会長あいさつ]

・私は生まれも育ちも稲沢で、井の中の蛙ではないが、外に出たことがない。その分、稲沢市に対して誇りに思う気持ちが強い。

・会長のあいさつを聞いていて、なるほどと思う気持ちと、自分も勉強したいという気持ちが芽生えてきた。会長や委員の皆様に引っ張っていただきながら、委員として活動していきたいと思う。よろしく願いたい。

議題（2）稲沢市の男女共同参画施策について

[事務局]

稲沢市の男女共同参画施策について、以下のとおり資料に基づき説明。

1. 「いなざわ男女共同参画プランⅡ」について
2. プランⅡの到達度について
3. プランⅡ（第2次中間改訂）の概要について
4. プランⅡを軸とした男女共同参画施策推進体制について

(主な質疑・意見)

[委員]

今年度は、次の議題にもある女性活躍推進法に基づく推進計画に新しく取り組むということでもいいのか。それとも例年と同様に実施状況報告を中心に取り組むのか。

[事務局]

女性活躍推進法に基づく推進計画については、この後詳しく説明させていただくが、事務局からは、「今年度は策定を行わない」提案をさせていただく予定をしている。従って、今年度については、プランⅡ（第2次中間改訂）に基づく進捗管理を中心に取り組んでいく予定である。特に、今年度はプランⅡ（第2次中間改訂）に基づく最初の実施状況報告となるので、計画の最終年度である2020年度を見据えて、計画目標の達成に向けた御意見・御提言を頂ければと考えている。

[委員]

審議会委員は、実際に現場を見て頂いて、それぞれの施策にどのような課題があるのかということを感じてもらえればと思う。

議題（３）稲沢市女性活躍推進計画の策定について

[事務局]

稲沢市女性活躍推進計画の策定について、以下のとおり資料に基づき説明。策定の方針（案）については、県内市町村の策定状況を踏まえ、次期男女共同参画プランの策定時（平成３２年度）に一体的に策定する旨を提案した。

- １．策定理由
- ２．策定の方法
- ３．県内市町村の策定状況
- ４．策定の方針（案）

(主な質疑・意見)

なし

[会長]

特に質疑等がないようなので、推進計画については事務局提案どおり、次回プラン策定時に一体的に策定することとする。推進計画については、物が出来るかどうかという問題と、実際に現場で様々な問題が起こっていて、これから先に形にしていく上で、盛り込まなければならないことは何かということは、別であると思う。各委員が御活躍いただいているそれぞれの場で、課題は何かという視点を常に持っていただけると有り難い。

議題（４）その他

[事務局]

次回審議会の日程について提案。８月１日（火）を予定とし、正式に決定すれば各委員に文書で通知する旨を説明。

(主な質疑・意見)

[委員]

少し話が戻るが、「策定方法」というのが先程の議題（３）であったが、これから策定に向けて、どの程度集まりがあるのか。策定の方法というのが今一つ理解出来ないでいる。

[事務局]

御質問は、女性活躍推進計画の策定方法ということでよろしいか。

[委員]

そのとおり。

[事務局]

結論から申し上げますと、女性活躍推進計画の策定を今年度は行わない。次期男女共同参画プランを策定する際に、次期プランと一体的に策定する予定をしている。具体的なスケジュールの案としては、平成３１年度に市民意識調査を実施し、平成３２年度にプ

ランの策定作業を行う予定で、その際に女性活躍推進計画も盛り込んでいく。どの程度集まりがあるのかについては、プランⅡ（第2次中間改訂）策定時には、年間で5回の審議会を開催した。次期プラン策定時も同程度の開催になるのではないかと。ただ、今年度については、各担当課から上がってくる実施状況報告に対する審議が中心となるので、回数は少なくなる。

[委員]

そうすると、今後はアンケートなども実施していくということか。

[事務局]

そのとおり。市民意識調査は平成31年度の実施を予定している。

[委員]

もう一つ、事務局から「報告が上がってくる」という説明があったが、これは市のほうに統計的に何かが上がってくるということか。

[事務局]

統計というより、施策を実施した結果の概要が担当課から報告として上がってくるもの。今年度についても、すでに各担当課に前年度の実施状況を報告するよう依頼済みで、まとめたものを次回の審議会でご審議いただき、御意見・御助言を頂く予定をしている。

[委員]

了解した。流れが分からなかったの。

[委員]

今年度については、開催回数はあまり多くないということでしょうか。

[事務局]

今年度については、あと2回程度の開催を予定している。

[委員]

今後の審議会に向けて、各委員で現場なども見ていただけると良い。

[委員]

そういう集まりがあるのか。

[委員]

集まりがある訳ではない。委員の活動はそれぞれ。ただ、例えば、今日の資料にプランⅡ到達度の資料があるが、その中で到達率が高くなっている放課後児童クラブについて、稲沢市ではとても力を入れており、高評価できる。しかし、そこには「現実の問題」がある。「子育て支援」という面から見ると、多くの方々がとても良いと評価しているが、「子育ての支援」や「教育」の面から見ると、ちょっと待てよということになる。女性の社会進出の支援にはなっているが、子どもへの支援にはなっていないのではないかと。ここが非常に問題である。実際に祖父母が保育園のお迎えに行くと、「どうして僕のところはお母さんが来てくれないの？」となる。それで、たまにお母さんが迎えに行くと子どもが喜んでしまって、片っ端から部屋を回って、「これが僕のお母さん」と言っ

て歩く。こういうことも踏まえると、女性の社会進出の問題というのは本当に難しいと感じる。それを支えていく社会というのはどうあるべきか。単純に施設が出来たら良いということではいけない。そこで働く人たちがどんな苦勞をしているのか、また、効果は上がっているのか。これも地域によって全然事情が違ってくる。この辺りも私たちがよく見据えた上で、プランとしてはこういう方向でいきましょうということの良いのだが、こういうことにも気を付けていきましょうということを私たちが申し上げるべきではないか。

[委員]

実際のことも私たちが見据えてやっていく必要性は感じる。

[委員]

行政は、自分たちの範疇で計画に基づきプランを進めていく。しかし、計画が実態と合っていないようなことも起こってくる。その際に、私たち委員がしっかりと意見を申し上げていいのではないか。

[委員]

そういう意見も言ってもいい場ということか。

[委員]

言わなければおかしくなると思う。男女共同参画社会の中で一番難しいのが社会教育や地域づくりの問題。地域の実態から見てどうなんだと。いろいろと御意見を言っていたければ良い。

[会長]

それでは、他に意見もないようなので、本日の会議は以上とする。

午後2時40分閉会

以下余白